

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 30 日 作成  
20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 26 日 作成

事務事業名	人権教育・啓発研修事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会事務局	課長名 財津幸泰
	施策	21	人権が尊重される社会づくり	所属課	人権啓発教育課	担当者名 塩地由梨
	基本事業	71	人権尊重についての理解の促進	所属班	啓発教育班	(内線) 2427
				法令根拠		

予算科目	会計 1	款 3	項 1	目 8	事業連番 10870	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 ⑧	コスト削減優先度評価結果 ③
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度)				

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

**【事業の内容】**  
職員、審議会委員の人権に対する意識の高揚と認識を深めるため、各種研修会等への参加を推進、調整する事業

**【業務の流れ】**  
各種研修会、大会等の把握、参加者の調整、旅費・参加資料代差し引き事務、大会等への参加。

**【主な予算費目】**旅費・需用費・負担金補助及び交付金

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
職員、審議会委員の人権に対する意識の高揚と認識を深めるため、各種研修会への参加の推進。部落解放県研究会(菊池市開催)		職員、審議会委員の人権に対する意識の高揚と認識を深めるため、各種研修会への参加の推進。
		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) 各種研修会参加者数 人
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市長部局職員、審議会委員	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 市長部局職員・審議会委員数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	人権問題に関する職員、審議会委員の資質を高める。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) 研修に参加し、大変勉強になったと感じた職員、審議会委員数 人
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	人権を正しく理解するようになる。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) 学習機会への参加者で正しく理解した人の割合 %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 トータル コスト  （期間 限定 複数 年度 のみ 記載）	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	900	879	2,043	1,442	572	572		572
	(A)事業費計	千円	900	879	2,043	1,442	572	572	572		0
		うち指定経費	千円								
		うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	3	5	5	229	7	7		7
延べ業務時間		時間	60	210	210	2,680	300	300	300		
(B)人件費計	千円	238	836	836	10,666	1,194	1,194	1,194	0		
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,138	1,715	2,879	12,108	1,766	1,766	1,766	0	
活動指標	人	43	100	538	159	100	100	100	目 標 合 計 値 画  22 年度		
対象指標	人	340	360	360	258	255	255	255			
成果指標	人		100	538	159	100	100	100			
上位成果指標	%	90.25	95.7	91.5		92	92.5	93			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
職員の人権意識の高揚を図るために開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？  
平成18年度までは職員を対象としていたが平成19年度より部落差別等をなくし人権を守る審議会委員も対象とすることとした。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
特にない。

事務事業名	人権教育・啓発研修事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	-------------	-----	----------	-----	---------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 人権問題に関する啓発教育を担う職員、審議会委員の資質を高めることは、施策と結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 人権問題に関する啓発教育を行うために、市が率先して職員、審議会委員の資質の向上を図らなければならない。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象・意図とも妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 職員、審議会委員が、研修会やフェスティバル等に積極的に参加し、人権問題の啓発に取り組んでいくことが必要である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 職員、審議会委員の人権問題を学習する場が少なくなり、影響が大である。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似する事業はなし。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 平成19年度より、日帰り研修の旅費を削減したが、日帰りが難しい研修地も多いので、旅費削減は難しい。平成20年度に部落解放県研究会が菊池市で開催されたため、負担金と参加資料代の増(単年度のみ)。単年度の状況により変わってくるが、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 研修は、職員、審議会委員の人権意識を高めるものであり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 対象・意図とも現状で公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、適切である。 ②有効性については、もっと多くの人に積極的に研修に参加してもらう。 ③効率性については、適切である。 ④公平性については、適切である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 研修会に参加した職員、審議会委員が学んだことを今後の人権問題に積極的に取り組むようにしていかなければならない。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>成果</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	○			向上				維持				低下			
	コスト																								
	削減	維持	増加																						
成果	○																								
向上																									
維持																									
低下																									

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
職員、審議会委員の一人ひとりが積極的に人権問題に取り組むことが大切である。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	5	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	6	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )